

年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、希望も新たにすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



テクノ経営総合研究所は1980年の創業以来、一貫して企業の生産性革新に向けたコンサルティング指導を展開してまいりました。当社は今年で24年目を迎えますが、これらは、一重に皆様方のご支援とご声援の賜物です。改めて心よりお礼申し上げます。更に今後は、現状に甘えることなく、経営者の皆様に喜ばれる新しい試みを拡大してゆく所存でございます。

実践コンサルティングで24年

当社が創業当初より心がけてきた指導方針が現場主義です。特に三現主義（現場・現物・現状）を信条として、実際の現場に踏み込んで直接指導させていただくことを基本スタイルとしています。コンサルティングは現場をみなければ分かりません。当社が無料の企業診断をさせていただいている理由もそこにあります。コンサルタントは机上の理論を振り回すのではなく、各企業の実情を鑑みて指導計画を練り上げるよう心がけております。皆様と共に24年という時間を歩んでこられた理由はそこにあると自負する次第です。

テクノ経営総合研究所の新しい取組みについて

2004年、当社は、さらに幅広い角度から経営戦略をからサポートさせていただく新たな支援

体制をスタートいたします。今までの経験の蓄積と当社が創業以来提唱する現場主義の立場から、経営の各要素である人・物・金（資産）・情報を最大限に活かし、利益を生み出す数々のノウハウをご提供させていただくよう考えております。

具体的には、

- ①管理・間接部門の業務プロセスを再構築、を推進する“オフィス・バリュー・マネジメント” (Office Value Management)
- ②不動産を中心に資産の運用・活用をアドバイスする“ファシリティーマネジメント” (Facility Management)
- ③実践コンサルティングとIT技術の融合で業務性の向上と企業革新をお手伝いする“情報システム化サービス”
- ④採用・人事制度・教育研修を通じて企業と社会の活性化をはかる“（株）テクノ経営人材センター”
- ⑤新製品開発を企画段階から設計・製造までサポートさせていただく“（株）テクノソーシング”等です。

私共は今年も引き続き各企業様の良き相談相手であり、ホームドクターでありたいと願っています。

今後のテクノ経営研究所に何卒ご期待ください。